

平成 20 年 12 月 3 日

各 位

会 社 名 カルナバイオサイエンス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 吉野 公一郎  
(コード番号：4572)  
問合せ先 取締役経営管理部長 島川 優  
(TEL. 078-302-7039)

## 国立がんセンターとの共同研究に関する特許出願のお知らせ

当社は、国立がんセンター（総長：廣橋説男、東京都中央区）との新規抗ガン薬に関する共同研究を行う中で、ガンの増殖に関連するキナーゼを阻害する化合物群を見出し、このたび共同でこれに係る特許出願を行いましたので、お知らせいたします。

### 1. 本特許出願の経緯

国立がんセンター研究所化学療法部・山田哲司部長、下重美紀主任研究官らの研究グループと当社は、同研究グループで発見された特定の主要なガンの形態形成において重要な働きを担うガン特異的キナーゼを分子標的とした新規抗ガン薬の研究開発を共同で進めておりますが（平成 20 年 6 月 16 日当社プレスリリース「国立がんセンターとの共同研究契約締結のお知らせ」参照）、このたび、本共同研究において当該キナーゼを選択的に抑制する化合物群を見出し、ガン細胞を用いてその効果を確認することができました。研究開発戦略上、本成果に関する知的財産を早急に確保し、権利化することで将来の事業化が有利であると両者で判断し、共同で米国において本成果に関する特許出願を行いました。

なお、当社は引き続き国立がんセンターと共同研究を継続し、副作用が少なく治療効果の高い新規抗ガン薬をいち早く医療現場に届けるべく、本成果を最大限に活用しながら医薬品候補化合物の創製研究に取り組んでまいります。

### 2. 今後の業績に与える影響

創薬研究における特許出願は、一般的には研究開始から数年かかるとされております。本共同研究においては、本年 6 月の研究開始から僅か 6 ヶ月足らずで特許出願を行うことができ、本共同研究に係る最適化フェーズ入りの時期等が前倒しとなるなど、今後の事業計画の進捗に影響を及ぼすことが考えられます。現在、今後の事業計画および業績に与える影響について検証中であり、確定次第速やかに公表する予定です。

(ご参考)

国立がんセンターの概要

- |                 |                      |
|-----------------|----------------------|
| (1) 名 称         | 国立がんセンター             |
| (2) 代 表 者       | 総長 廣橋説雄              |
| (3) 所 在 地       | 東京都中央区築地 5-1-1       |
| (4) 設 立 年 月 日   | 昭和 37 年 2 月 1 日      |
| (5) 当 社 と の 関 係 | 人的・資金的・取引関係は一切ありません。 |

カルナバイオサイエンスの概要

- |               |  |
|---------------|--|
| (1) 名 称       | カルナバイオサイエンス株式会社  |
| (2) 代 表 者     | 代表取締役社長 吉野公一郎  |
| (3) 所 在 地     | 神戸市中央区港島南町五丁目 5 番 2 号 511                                |
| (4) 設 立 年 月 日 | 平成 15 年 4 月 10 日   |
| (5) 事 業 内 容   | キナーゼ阻害薬の創薬基盤技術を用いた製品・サービスの販売<br>(創薬支援) および医薬品の研究・開発 (創薬) |

【本件に関する問い合わせ先】

カルナバイオサイエンス株式会社  
経営管理部 I R グループ I R 担当  
TEL : 078-302-7039

以 上